

J A 三島函南 平成28年度上半期 経営状況のご案内

1 J Aの地域貢献

J Aは、農業者を中心に地域の皆様が組合員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、農業・地域の活性化に資する地域金融機関を目指しています。

皆様からお預かりした貯金等の資金は、資金を必要とする組合員や地域の皆様などにご融資し、農業、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいています。

また、J Aでは金融のみならず総合的に事業活動を行っており、農業や助け合い活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めています。

◎自己改革への取り組み

農家組合員の皆様からの声に基づき農畜産物のブランド化を柱とする農業所得の増大を自己改革の重点項目に掲げて取り組んでいます。その成果の一つとして、静岡県初となる地理的表示（GI）保護制度登録に三島馬鈴薯が認められました（平成28年10月）。

◎地域密着型金融への取り組み

営農部門と連携し、農業者に対し農業制度資金の提案を行ったり、就農支援資金等の融資による経営支援や地域農業の活性化に努めています。子供たちに食や農業への理解を深めてもらうよう、管内の小学校へ食農教育本を寄贈しています。

◎農業体験活動

食育活動の一環として地域農業への理解を深めてもらおうとJ A三島函南青壮年部、女性部が中心となった『農業体験』、既往の住宅ローン利用者向けに『サツマイモ掘り体験』を実施しています。また、市民農園では、地域の皆様が自然に親しめる農業体験活動の場を提供しています。

◎ボランティア活動

高齢化社会が進む中、J Aでは組合員および地域の高齢者が安心して老後を暮らせるよう、訪問介護ステーション『ささえ愛』を開設し介護サービスを提供。『三島市北上高齢者すこやかセンター』では地域高齢者の憩いの場として、様々なボランティア活動を実践し高齢者福祉活動に取り組んでいます。また、J A三島函南女性部では、管内の老人ホーム等に清掃、食事の介助等のボランティア活動や、農業祭での収益金の一部を寄付するなどの活動も行っています。

◎地産地消運動

地域で採れた食材を地域に提供し食材を通して食文化を育む、地産地消運動に積極的に取り組んでいます。子供たちにお米、西瓜、馬鈴薯、トマトなど地元の食材を提供する学校給食や地元で採れた新鮮な野菜を地域の消費者にお届けする農産物直売所を開設し、地産地消運動に努めています。

◎農産物直売所の開設

消費者とのコミュニケーションづくりを心がけ、農産物直売所フレッシュから、安心して安全な地元の農産物を提供しています。

2 金融再生法開示債権(単体)

当J Aの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。

今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：百万円)

債 権 区 分	平成28年9月末	平成28年3月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	672	725	-53
危険債権	384	385	-1
要管理債権	0	0	0
合 計	1,056	1,111	-55

注：1. 平成28年9月末の計数は、平成28年8月末を基準日として行った自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。信用事業に係る総与信（貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替（以下、同様））のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③「要管理債権」とは、3月以上延滞債権（元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権）及び貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権）です。

3 単体自己資本比率

当JAの自己資本比率は平成28年9月末16.47%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成28年9月末(見込み)	平成28年3月末
16.47%程度	16.55%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額）} \times 100}{\text{リスク・アセット（当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウエイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナルリスク相当額}}$$

2. 平成28年9月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成28年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
貯 金	157,802	160,630	163,371
貸 出 金	50,167	48,986	48,124
預 金	109,843	114,256	118,135
有 価 証 券	3,002	2,717	2,384

注：平成27年9月末および平成28年9月末の残高は帳簿価格を、平成28年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	平成28年9月末			平成28年3月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-

(単位：百万円)

	平成28年9月末			平成28年3月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
その他有価証券	6,434	6,728	294	6,730	7,062	331
株 式	0	3	3	0	3	3
債 券	2,093	2,384	290	2,390	2,717	327
そ の 他	4,340	4,340	—	4,340	4,340	—

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。

2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。

3. 平成28年9月末の含み損益・評価差額は、平成28年9月末時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。

4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。